

セッション趣旨説明

Session information

*坂野井 和代¹*Kazuyo Sakanoi¹

1. 駒澤大学

1. Komazawa University

パブリックセッションの趣旨説明

キーワード：ダイバーシティ

Keywords: Diversity

個性に応じた多様なキャリアへの挑戦機会の実現にむけて

The society where everyone can challenge diverse carriers

*富樫 茂子¹

*Shigeko Togashi¹

1.産業技術総合研究所

1.National Institute of Science and Technology

属性にとらわれず、それぞれの個性に応じて多様なキャリアに挑戦ができる社会を目指したい。しかし、現実には、性別・国籍・障がい・年代などの属性に関連した多くのバリアが存在し、仕組みや意識の変革に取り組まざるを得ない。これまでのJpGUの取り組みを振り返り、将来を考えてみたい。

キーワード：多様なキャリア、性別、国籍、年代

Keywords: diverse carriers, gender, nationality, generation

「仕事も私生活も、欲張ろう！」 ～Work x Life x Social = Hybrid人生のススメ～
Enjoy Hybrid Life!

*川島 高之¹

*Takayuki Kawashima¹

1.三井物産ロジスティクス・パートナーズ株式会社

1.Mitsui & Co., Logistics Partners Ltd.

NP0法人コヂカラ・ニッポンの代表理事で三井物産ロジスティクス・パートナーズ株式会社 社長の川島高之さんよりご講演いただきます。

キーワード：ダイバーシティ

Keywords: Diversity

応用物理学会における男女共同参画活動

Diversity Management in The Society of Applied Physics

*近藤 高志¹

*Takashi Kondo¹

1. 東京大学 先端科学技術研究センター

1. Research Center for Advanced Science and Technology (RCAST), The University of Tokyo

応用物理学会における男女共同参画活動について、東京大学先端科学技術センター教授の近藤高志先生よりご講演いただきます。

キーワード：ダイバーシティ

Keywords: Diversity

男性研究者のワーク・ライフバランス～ワークとライフの垣根を下げてみる～

Work-life balance for Male researcher

*青木 賢人¹*Tatsuto Aoki¹

1.金沢大学地域創造学類

1.School of Regional Development Studies, Kanazawa University

男性研究者のワークライフバランスに関する一事例として、私のケースを紹介します。

依頼をいただきましたが、ワークライフバランスという話をするのに適した人選かどうか、正直なところ自信はありません。こんな大学男性研究者もいるという事例報告になればと思っています。育休もそこそこ（まる4か月）取りましたし、それなりに子育てはしているだろうなあとは思っていますが（自分では・・・苦笑）。

まずは、簡単なパーソナルデータを。46歳。大学で准教授をしています。専門は自然地理学（学位は理学）ですが、所属している学部（金沢大では学類と呼びます）は文系です。

さて、ワークとライフのバランスですが、そもそも、大学研究者は裁量労働制が適用されていて、厳密にオンとオフの仕分けができません。また、大学での講義や会議だけが業務ではなく、地域貢献も重要な要素です。また、専門分野が地理学ということもありフィールド調査も不可欠です。平日・休日、日中・夜間、学期中・長期休業中、国内・国外の隔てなく、さまざまな業務が入ります。

その中で子育て真っ最中です。それを乗り切る上で、「ワーク」と「ライフ」を仕分けしてそのバランスを取ることを考えるよりも、ワークとライフの垣根を意識的に下げてしまおうという方針でやっています。仕事先やゼミに子どもを連れて行っているというやり方です。学生たちや仕事先の皆さんの理解もありなんとか回っています。加えて、当の子ども自身や、関わってくれている学生たちにもいろいろと影響を与えてあげられているのではないかとと思っています。職場結婚で夫婦でゼミをやっているという非常に特殊な環境だからこその方法かもしれませんが、なにか、皆さんの参考になるような話ができればと思っています。

キーワード：ワークライフバランス、男性研究者

Keywords: work-life balance , male researcher

日本の研究機関や大学での外国人研究者の雇用における相互利益と不安要因

Mutual benefits and anxiety factors for the employment of foreign researchers at universities and research institutes in Japan.

*宋 苑瑞¹

*Wonsuh Song¹

1.JSPS Postdoctoral Research Fellow, Saitama University

1.JSPS Postdoctoral Research Fellow, Saitama University

いくつかの事例紹介とともに、日本の研究機関と外国人研究者のお互いの立場から見てみます。

キーワード：外国人研究者、雇用

Keywords: Foreign Researcher, Employment